

西も東も山の面白さ詰まった2時間

3月8日 安曇野から登る絶景の山旅



北アルプスパノラマ銀座とひがし山の魅力を伝えるオンラインライブが開かれました(実行委員会主催)。第1部では燕山荘の赤沼大輝さん(35)と常念小屋の山田雄太さん(25)が若い経営者としての思いや新たな取り組みなどを紹介。第2部ではひがし山の魅力と本年度実施した登山者駐車場の混雑情報配信サービスなどの最新情報を市観光協会会長の赤沼健至さんと市観光協会の北村昌之さんが伝えました。大輝さんは「先代から受け継いだものを守りつつ、多くの人に楽しんでもらえるように新しいニーズを取り入れていきたい」と夏山への思いを語りました。

銀世界の長峰山で リアルな安曇野を体験

3月8日 やぎちゃんと長峰山に登ろう!

安曇野観光メタパス内のルームで山と里の魅力を発信している登山YouTuberやぎちゃんと一緒に長峰山で冬の安曇野を体験するイベントが開かれました。約20人の参加者は雪が積もった長峰山に登り、登頂後はルーム内の動画でやぎちゃんが実際に訪れた場所やグルメにちなんだクイズを楽しみました。また、おやきや円揚げが軽食として振る舞われ、やぎちゃんと登山や安曇野の情報を交換しながら味わう参加者の姿が見られました。

妻の由紀子さん(48)と参加した山田勉さん(49・愛知県岡崎市)は「長峰山はよく整備されていて、登りながら北アルプスが見えるので疲れた時もちやされる。ナスのおやきが体に染みる」と話し、初めて訪れた安曇野を満喫していました。



動画出演店舗が集合 暮らしを身近に

3月1日 心地よさと暮らす、安曇野物語



市が本年度作成した2本の動画「心地よさと暮らす、安曇野物語」のPRと合わせて安曇野暮らしの魅力を伝えるイベントが無印良品ツルヤ安曇野穂高店で開かれました。このイベントは、同店の協力で動画に出演している店舗が出店。当日は、出店者の移住・Uターン体験談を聞いたり、商品のこだわりや地元の情報などを話しながら買い物を楽しむ家族連れやカップルでにぎわいを見せていました。

伊藤泰介さん(47・穂高)は「私も数年前に移住してきたが安曇野はたくさんいい場所があるし、こういうイベントがあるとうれしい」と話してくれました。

工夫を重ねた商品 ぜひ食べて!

2月19日 安曇野オリジナル商品案採用報告会



市と南安曇農業高校が取り組んでいる安曇野オリジナル商品開発プロジェクトの商品案採用報告会が市役所で開かれました。これまでに24案が採用され、5年目となる本年度は10品の商品案が採用。採用した企業の担当者らは、生徒の開発段階で工夫した点やこだわった点などの発表を興味深く聞きながら、力作を試食していました。

ワサビの生大福を考案した岩淵なな子さん(18)は「目新しくパンチのある商品を作りたいと思っていた。味でも見た目でもワサビ感を出すために工夫を重ね、いいものができた」と笑顔を見せてくれました。

迫力満点! 白熱プレーに熱視線

3月1日 SVリーグVC長野トライデンツ×サントリーサンバーズ大阪

バレーボール男子大同生命SV.LEAGUE MENのVC長野トライデンツがサントリーサンバーズ大阪とANCアリーナで対戦しました。プロのプレーを間近で見ようと、チケットは完売。当日は、満員となる1789人が観戦しました。試合開始と同時に両チームは力強いスパイクやブロックで次々と得点し、目が離せない攻防を繰り広げました。結果はVC長野が敗れたものの、熱い展開を見せた選手たちに客席からは大きな拍手と歓声が送られました。

2回目の観戦を楽しんだ宮原三千代さん(61・塩尻市)は「VC長野のブロックが効果的に決まっていた。選手との距離が近くて熱気を肌で感じた」と話してくれました。



台湾の友達と とっておきの時間

2月19日 台湾忠孝国民小学校との交流事業



台湾高雄市塩埕区忠孝国民小学校の児童17人が穂高西小学校を訪れ、同校の6年生と交流を深めました。子どもたちは、習字で互いの言語を書いたり、けん玉や折り紙で遊んだりして過ごしました。今回の訪問は、昨年10月に市が台湾で初めて行った訪日教育旅行の誘致活動によって実現。事前にオンラインで顔を合わせていたこともあり、子どもたちはお互いの名前を呼び合ったり会話を楽しんでいました。歓迎セレモニーで英語のスピーチを披露した平野莉帆さんは「この日のために毎日練習した。うなずきながら聞いてくれてうれしかった」と話してくれました。